

会報 SHINSHIYOU

平成25年12月1日

第186号

(昭和29年7月10日創刊)



神私幼

発行：公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会
発行人：会長 渡邊 真一
編集人：神私幼総務部(広報室)
発行：年4回(6月・9月・12月・3月)
発行部数：1700部

<http://www.shinshiyu.com>

〒221-0055 横浜市神奈川区大野町1-25 横浜ポートサイドプレイス509 アネックス5F
TEL. 045 (440) 3210 FAX. 045 (440) 3209



公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会



INDEX

- 2 会長挨拶
幼児教育の未来 私立幼稚園の役割と責任
●幼稚園連合会会長 渡邊 真一
- 3 連載 副会長に聞く
第5回 運営委員会を大切に ●副会長 木元 茂
関東地区代表者協議会埼玉大会報告
子どもたちは私たちの希望です。未来です。
その子らの良質な成育環境を求めて ●副会長 小澤 俊通
- 4・5 研修事業部・研究部 活動報告
免許状更新講習会報告／公開研究保育報告／若手後継者のための保育勉強会報告
研究特別委員会A部会報告／研究特別委員会B部会報告
- 6 平成25年度神奈川県私立幼稚園父母の会連合会 研修大会報告
本物のたくましさを育てるために
●神奈川県私立幼稚園父母の会連合会 副会長 山田 貴子
- 7 シリーズ 地区協会長は考える 第5回 ●川崎協会 協会長 伊藤 夏夫
教育相談室から
相手の立場に立ったり、立ってはいけなかったり ●教育相談員 鈴木 敦子
Pride of KANAGAWA
- 8 研修会報告
新規加盟園情報

研修事業部・**研究部**

研究部活動報告

他園の保育実践に学ぶ

平成25年度
免許状更新講習会報告

教員免認状更新講習を振り返って

研修事業部長 岩本勉

手続きの簡素化とトラブル防止のため、
このような方法をとらせていただきま
さい。

免許状更新講習「免許状更新講習免除」の申請について

インターネットで「神奈川県教委員会」を検索してください。
 「神奈川県教育委員会ホームページ」
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f6556/> を開きます。

★トップページ左側の「ピックアップ」欄より

- ① 教員免許(クリック)→
- ② 現職教員・学校向け情報(クリック)→
- ③ 教員免許状更新に係る学校・幼稚園及び現職教員向け情報(クリック)→
- ④ 「申請書等の様式」

こちらから、申請書用紙をダウンロードしてご使用ください。
 詳しい事は「よく使う資料」の『教員免許更新制に係る実務Q&A』をご覧ください。

和33年度・昭和43年度・昭和53年度4/2~4/1生まれの方は、
 26年1月末日までに免許状の更新が必要です。

和34年度・昭和44年度・昭和54年度4/2~4/1生まれの方は、
 27年1月末日まで

第14号様式の5「免許状更新講習申請書」又は第14号様式の8「免許状更新免除申請書」(園長等免除対象者)
 お持ちの免許状すべての原本(校長が原本証明をした写しでも可)又は授業明書が必要です。(幼稚園教諭免許状の1種と2種持参の場合、両方必要)
 履修証明書(園長等免除対象者は不要)
 「神奈川県収入記録」3,300円分
 ○宛先を明記し80円分の切手を貼付した定型の封筒」を御持参ください。
 (各種証明書の郵送での受け取りを御希望の場合)

毎年2月から4月初旬までは、更新等の申請受付はできません。(なお、2月から3月に申請できる方がいらっしゃいますので、詳しくはお問い合わせください)
 人数がまとまる場合は、園長または代表者がご持参願います。(郵送は、不職員が行く場合は、本人がご持参ください。)

神奈川県内の幼稚園に勤務している方は、「神奈川県教育委員会」に申請します。
 免許状や証明書の氏名・本籍地に変更がある場合は、校長が証明した履歴変更確認書又は戸籍抄本(異動の履歴が確認できるもの)が必要です。
 申請書には校長の公印による証明が必要なものがありますので御注意ください
 申請をされてから各種証明書の発行までには約1ヶ月かかります。

神奈川県教育委員会教育局教職員課 免許班
 横浜市中区日本通33 神奈川県住宅供給公社ビル3F
 TEL: 045(210)1111(代表)

内容をもとに討議を行いました。グループ討議では時間がいくらあっても足りないくらい、どのグループも白熱した話し合いが活発に行われていました。第二回は鳥取の仁慈保幼園へ施設見学に十八名の参加者で行きました。仁慈保幼園は妹尾園長が約十年前に園長就任と同時にレッジヨ・エミリアの児童教育を参考にしながら、保育の一新を行いました。子どもの思いや言葉に耳を傾けながら子どもと共に作る保育や保護者への情報発信・連携の取り方など、現場を実際に見ながら多くのことを学ばせていただきました。

まだ発足したばかりの会ですが、勉強会自体も大変充実した学びの機会であると共に、園や役職は様々ながら、似たような立場の人達と話し合い、共感しあえることも視野を広げる有意義な場となっています。



幼兒理解

立身圓力桂園 霽用之

幼兒理解

立身圓力桂園 霽用之

第三回は九月十九日に玉川大学教育学部教授・四季の森幼稚園園長の若月芳浩先生を講師にお招きして、「仁慈保幼稚園見学のフォロー」をテーマに十四名の参加者で行われました。八月に見学させていただいた仁慈保幼稚園の様子をおさめた写真と、参加者の研修レポートをもとにスタッフが作成したプレゼンを参加者に見ていただきました。その後、若月先生から「子どもの主体性と大人の意図のバランス」「保育の歴史」「保育の見直し（質の見直し）」等の観点から、お話をしていただきました。また参加者のディスカッ

A photograph showing a classroom setting where a teacher is addressing a group of children seated on the floor. The teacher, a man in a grey t-shirt, stands at the front, gesturing with his hands as if explaining something. Several children, mostly boys, are visible in the foreground, looking towards the teacher. The room has blue patterned curtains and a wooden door on the right side.

「環境」

研究特別委員会B部会報告

「環境」

研究特別委員会B部会報告

「環境」

公開研究保育報告

他園の保育実践に学ぶ

白山幼稚園 志村 雄治

平成二十三年度から横浜市の二園で始まつた「公開研究保育」は、昨年度、相模原市と川崎市の二園で開催されことになりました。

平成二十五年十一月十九日(火)

平和学園幼稚園(茅ヶ崎市)

園長 橋 明子 先生
講師 佐藤 康富 先生(鎌倉女子大学)

八幡橋幼稚園(横浜市)

園長 江津 秀子 先生
講師 大豆生田 啓友 先生(玉川大学)

先日行われた平和学園幼稚園では、まず参加者がホテルに集合し、講師から公開保育見学の保育の見方、視点について詳しい解説があり、幼稚園から保育予定、注意事項についてお話をありました。その後、午前中は保育見学、昼食後に幼稚園から当日の保育についての説明、学年ごとの担任教諭から実践報告等を話して頂きました。そして、講師からバズ討議の柱立てについてのまとめを明があり、公開園の教諭も加わってグループ討議を行い、最後に講師から保育実践や幼児理解についてのまとめをして頂きました。今まで二年半で五回の公開研究保育を行いましたが、参加者にとって公開園の保育は新鮮で、ただ話を聞くだけの講習会に比べてとても深い研修ができると大変好評です。また、公開園の教員にとつては始まる前は緊張し、とまどい、気が重い感じのようでしたが、参加者からの意見や励ましの言葉を頂き、大変勉強になつたという感想が多く聞かれました。

次回は、前記のように二月に横浜で開催予定です。近日中に参加者の募集を行いますので、是非多くの先生方にご参加頂きたいと思います。

若手後継者のための保育勉強会報告

これから幼稚園教育を担う次世代へ

かぐのみ幼稚園 石井 望
さくら幼稚園 櫻井 喜宣

「将来、園を担つていく後継者自身が保育の学びを深め、自園の保育のリーダーを担つていく必要があるのではないか」という考え方のもと、昨年度は三回の勉強会を行いました。

本年度より正式な研究部の事業となり、八月までにすでに二回の勉強会が行われました。第一回は六月十七日に聖心女子大学の河邊貴子先生を講師にお招きして、「保育内容表現を見直そう」をテーマに三十三名の参加者で行わされました。前半は質の高い遊びの重要性の話を中心とした講義を受け、後半はグループ毎に分かれて講義の



若手後継者のための保育勉強会報告 これから幼稚園教育を 担う次世代へ

平和学園幼稚園(茅ヶ崎市)
園長 橋明子先生
講師 佐藤康富先生(鎌倉女子大学)

一言で「環境」といっても、物的環境・人的環境、または園庭の環境・保育室の環境など、多様な内容を含む「環境」はテーマとしては難しいと言われています。そこでB部会では、幼児の「遊びの環境」を考えるということは、保育者自身の「遊びの環境」を考えることでもあると考えて進めてきました。まず最初は、話し合いの環境を整えるためのテーブルセッティングから始めました。季節の自然物やテーブルクロス・花瓶等を準備して参加者が思い思いにテーブルをかざりました。そして、アイスブレーキングのゲームをしながら、初めて顔を合わせた保育者たちの気持ちをときほぐしました。

二回目以降は子どもたちが遊んでいたり映像を見ながら、子ども同士の共感がベースになって発達していく姿に触れながら、ラーニングストーリーにおける五つの視点について学びました。日常の保育をその五つの視点で見つめ直したものを参加者が持ち寄り、意見交換をしていく中で、子どもの姿から子どもの行動の意味づけを書き出し、発達の課題を見出していく研修を重ねてきました。そして、空間経過記録（子どもの遊びの場を上から見た図）をもとに、子どもの行動の現れの理由を考え、物・場・状況との関わりが子どもたちの行動にどのような影響を与えているのかを振り返ってみることがとて大切であることを学びました。

新制度においては川崎版子ども・子育て会議が始まりました。施設型給付の教育・保育の提供区域の設定、教育・保育の量の見込みや提供体制の確保が大きな課題となることは間違ありません。これは各市町村に

これからは自園の将来の進むべき道を決定しなければなりません。加盟園が迷うことなく、情報を速やかに伝達することが大きな役目と考えています。

研修会報告

研究部主催

研修事業部主催

開催日	研修名	会場	講 師	テ ー マ	参加者数	
9/4(水)	相和オープン講座	綾瀬中央公民館 3F講堂	幼児教育研究家・ことば遊び研究会講師 斎藤 二三子 先生	『心とことばを大切にする保育とは!!』	71人	
9/19(木)	第3回 統合保育基礎講座	かながわ ようちえん会館	Nippon Data社会福祉研究所副所長・ 教育福祉研究室室長 精神保健福祉士 上原 文 先生	3. 本当の家族支援とはそのⅠ	103人	
11/14(木)	第4回 統合保育基礎講座	かながわ ようちえん会館	精神保健福祉士 上原 文 先生	4. 本当の家族支援とはそのⅡ	120人	
9/19(木)	若手後継者のための 保育勉強会	かながわ ようちえん会館	玉 川 大 学 教授 若月 芳浩 先生	これからの幼稚園教育を担う世代へ 仁慈保幼園フォロー	23人	
11/19(火)		宮前幼稚園	玉川大学学術研究所こころの教育実践センター TAPトレーナー 白山 明秀 先生	これからの幼稚園教育を担う世代へ 宮前幼稚園見学	22人	
10/17(木)	新規採用教員研修会	神奈川県立体育 センターアリーナ	玉川大学学術研究所こころの教育実践センター TAPトレーナー 白山 明秀 先生	「体験しようアドベンチャー教育 第2回」	114人	
10/21(月)	10年経験者研修会	かながわ ようちえん会館	お茶の水女子大学大学院 准教授 刑部 育子 先生	「保育記録の取り方、活かし方 ードキュメンテーションについて学ぶ1-」	52人	
11/26(火)		多摩美術大学	准教授 植村 朋弘 先生	「保育記録の取り方、活かし方 ードキュメンテーションについて学ぶ2-」	54人	
10/22(火)	相模原オープン講座	ユニコムプラザ さがみはら	相模女子大学 教授 尾崎 康子 先生	『特別支援児研修会』保護者に寄り添う ～支援を要する児をもつ保護者への共感・受容～』	58人	
11/5(火)	父母の会連合会 研修大会	パシフィコ横浜 会議センター メインホール	海洋冒險家 白石 康次郎 氏	『たくましさを育てる』	752人	
11/9(土)	免許状更新講習会 (選択)	平塚学園ad	小田原 女子短期 大学	准教授 宮川 萬寿美 先生 准教授 市野 繁子 先生	・子どもの共通理解と連携 ・発達理解と保育者の役割について	79人
11/16(土)				准教授 村田 紋子 先生 助教 野津 直樹 先生	・子どもの権利・子どもの虐待 ・子どもにきいていく「環境」をともに考える	66人
11/13(水)	逗葉オープン講座	かぐのみ幼稚園	東京造形大学 准教授 石賀 直之 先生	『子どもの育ちと造形』	49人	
11/18(月)	保育所行政の 概要説明	かながわ ようちえん会館	次世代育成課長 井上 従子 氏	『保育所行政の紹介について』	110人	
11/19(火)	公開研究保育 免許状更新講習(選択)	平和学園幼稚園	鎌倉女子大学短期大学 教授 佐藤 康富 先生	「幼児理解と幼児の学び」	公開保育20名 免許更新25名	
11/20(水)	川崎オープン講座	川崎市中原市民 館ホール	女優・歌手・手話通訳士 古家 貴代美 先生	みんなでいっしょに 手話歌&ふれあい遊び&劇あそび	96人	
11/27(水)	横須賀オープン講座	横須賀三浦教育 会館ホール	落語家 立川 志遊 氏	人と人を心でつなぐ話し方	100人 (予定)	



お詫びと訂正

前号「会報神私幼185号」(平成25年9月1日発行)におきまして記載に誤りがありました。正しくは以下の通りです。

10頁 3段目 13行目

(誤) では、元文部科学大臣の河村達夫会長



(正) では、元文部科学大臣の河村建夫会長

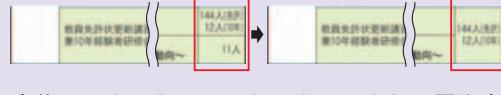
12頁 研修会報告

(誤)

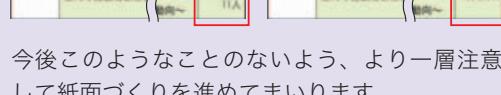
(正)



8月5日(月)



8月6日(火)



今後このようなことのないよう、より一層注意して紙面づくりを進めてまいります。
お詫びして訂正いたします。

ようこそ連合会へ 新規加盟園情報

公益社団法人横浜市幼稚園協会 宗教法人孝道山本仏殿 横浜孝道幼稚園

〒221-0064 横浜市神奈川区鳥越38

TEL. 045-432-1555

FAX. 045-432-3090

理事長 岡野 正純

園長 岡野 郊子

設立年月日 昭和42年4月1日

編集
後記

寒さが一段と厳しくなってきて、ついポケットに手をしまいたくなりますが、意識的に背筋を伸ばさなくては…と思います。早いもので今年も最後の月となり、2学期も残り僅かとなりました。一年を振り返りますと様々なことがありました。一番の出来事は「子ども・子育て新制度」ではないでしょうか。「公定価格」がいまだ未提示など、具体的な内容がまだ確定していない中、来年の夏頃には「移行先」を確定しなければなりません。更に、利用者である保護者にどのように説明をしていけばよいのか、日々悩まれていると思います。さて、師走の名にたがわず、12月は駆け足で通り過ぎていきます。また、年の瀬を迎えますと何となく慌しくなりますので、心に余裕を忘れずにしっかりと一年を締めくくりたいですね。

広報室 菅沼 正平